

令和6年11月
公民館だより

なかのせき

中関地区人口 10月末現在
男性 6,305人
女性 6,002人
合計 12,307人
世帯数 6,445

「令和6年度 中関ふれあい祭り」盛大に開催



11月10日(日)、中関塩浜太鼓の重厚な音で始まった令和6年度「中関ふれあい祭り」。中関小学校グラウンド、体育館は朝早くから多くの人々でにぎわい、これまで以上の熱気に包まれていました。

グラウンドでは、PTA、地域団体によるうどんをはじめとする各種販売、遊びコーナー等が展開され、人々が行列をなして、早々に売り切れも出る盛況ぶりでした。

体育館内では、開会行事の後、中関小学校児童の合唱が1年生からはじまり、元気な歌声が体育館に響き渡り、観客から大きな拍手が起こっていました。

午前中の後半は、中関保育園、きんこう保育園、きんこう第2保育園の園児たちの合唱とえんしん幼稚園の塩浜太鼓の演奏がありました。最後に公民館講座・サークルなどの発表がありました。展示会場では、華陽保育園、華陽中学校、華西中学校、防府総合支援学校、華南園の園児・児童・生徒の作品、公民館講座・サークルの作品及び、地域福祉団体の作品の展示が行われ、多くの観覧者でにぎわいました。



えんしん幼稚園の園児たちと塩浜唄の会のみなさんによる「塩浜太鼓」のコラボレーション演奏



最後の餅まきは熱気も最高潮でした

学級・教室の活動

家庭教育学級 「お金について考えよう」

10月2日

今回は、財務省中国財務局山口財務事務所の汐崎様をお招きし、「子育て家族のお金の話」と銘打って、若いお母さん方に、ライフプランや教育資金準備のポイント、積み立て投資による資産形成など、子育てにまつわるお金について話をいただきました。

「お金を使ってなにをしよう」と前向きに考えることが、とても大事であり、「自分がどう生きるかを考えることになる」と汐崎さんは話されていました。

このようなお話を聴くことは、受講したみなさんの有意義な将来設計につながると思いました。



女性学級 「本との出会い・人との出会い」

10月17日

今回は、鈴木隆子先生から防府市出身の伊集院静さんを取り上げてお話をいただきました。

伊集院さんが亡くなられてちょうど1年。男性からも女性からも愛され「昭和の無頼作家」の愛称で呼ばれていた伊集院さんですが、その人物像、人間像を鈴木先生は、伊集院さんの生い立ちから青年期にいたるまでの人間形成を顧みながら、ていねいに語っていかれました。

先生の話から、伊集院さんの魅力をあらためて知るようになりました。

伊集院さんの作品の中には、防府を舞台にした作品がいくつかありますが、その昔の故郷の風景が描かれている部分にふれると、懐かしい思いが蘇ってきて、つい目頭が熱くなってきました。



高齢者教室 「防犯講習会」

9月25日

今回は、山口県警生活安全企画課犯罪被害防止アドバイザーの方をお招きして、特殊詐欺防止教室を実施しました。

これだけニュース等で取り上げられていても、何故か詐欺に引っかかってしまいます。そこで、山本様は、もう一度4つの大事な事柄に気を付けてもらいたいと話されていました。

その4つの事柄とは、①キャッシュカードは渡さない。②暗証番号を教えない。③ATMでは、お金は払い込まない(還付金詐欺)。④権威者(警察官・銀行員・市役所職員・弁護士等)からの指示に注意。この4つです。

参加された全員が、「他人事ではなく、改めて肝に銘じて注意しなければ」という感想をもちました。



高齢者教室 社会見学 10月21日

ひらめきパーク笠戸島 酒蔵はつもみぢ

10月21日(月)に、令和6年度の高齢者教室社会見学を実施しました。22人の参加者でした。

午前中は、笠戸島の「ひらめきパーク笠戸島」を見学しました。9月中旬、養殖されていたヒラメの成魚が、猛暑のせいで6,000匹死んだというショッキングなニュースが飛び込んできました。しかし、パークでは他の魚も養殖していて、キジハタやオニオコゼの稚魚は元気に育っていました。

豊かな海を維持していくために大変な努力をされているのがよくわかりました。

午後からは、周南市の中心街の一角に位置する酒蔵「はつもみぢ」を訪問しました。

200年以上前に酒造りを始められた老舗です。昭和の終わりにいったんは酒造りをやめられたのですが、今から20年前に復活され、今では山口県を代表する酒蔵の一つになっています。

どのようにしてお酒ができていくのか、その工程をていねいに説明していただき、大変勉強になりました。



中関ふれあい祭り風景



いろいろお手伝いをしてくれた中関小ボランティアキッズのみなさん



美味しいうどんを準備していただいた福祉部のみなさん



中関幼稚園、きんこう保育園、きんこう第2保育園の園児のみなさんが元気いっぱい合唱を披露しました



日本の秋の歌を代表する「秋桜」をカラオケ講座のみなさんが情感をこめて歌い上げられました



中関フラダンスサークルのみなさんが、ハワイアンミュージックにのって優雅に舞われました



極真会館山口支部防府道場の皆さんが気迫あふれる演武を披露しました

サークル活動紹介

琴・三味線サークル



歌音痴、カラオケ嫌いの私が、田舎の押し入れの中で、母の三味線を見つけ、なぜか処分できずに十年が過ぎたころ、一度音を出してやりたい、民謡を奏でてみたいと思うようになりました。教えてもらえる所を探していると、市広報で中関公民館で講座が開設されていることを知り、すぐに申し込み、早や三年が経ちました。

夢の民謡はまだまだ先の話です。練習はじめの音合わせでは、いまだにもたもたしていますし、合奏で音を狂わすのも私です。そんな私にみなさんやさしく教えてくださいます。

尺八・琴・三味線合同で奏でるときがあります。美しい音色に感動します。そんな演奏会のためにも月二回の練習を頑張っています。

また、奥迫先生の昔話が話題豊富で懐かしい記憶が蘇り、楽しい時間となっています。たとえば、自衛隊に通ずる道を、私たちは「新道路」と言っていました。が、先生は「軍用道路」と言っていたと言われた時は、時代の流れを感じました。

今、「ふれあい祭り」への作品作りに頑張っています。

おかし子どものころに五年間、我が子二人と八年間、書道教室に通っていました。

年齢を重ねてきて、残り少ない日々を充実した時間として過ごしたいと思いい、参加することに決めました。みなさんやさしく和氣あいあいと二時間書くことに集中しています。

書道(小筆・ペン)サークル

